

J E N E S Y S 2 . 0

韓国青年訪日研修団

訪問日程 平成 27 年 2 月 3 日 (火) ~ 2 月 12 日 (木)

1. プログラム概要

「JENESYS2.0」の一環として、在大韓民国日本国大使館、在釜山日本国総領事館、在済州日本国総領事館で選抜、派遣された韓国青年訪日研修団計 110 名が、去る 2 月 3 日から 2 月 12 日までの 9 泊 10 日の日程で研修を行いました（第 1 団団長：鄭基椀（チョン・ギワン）光州東成中学校日本語教師、第 2 団団長：蔣春姫（ジャン・チュンヒ）新道林中学校日本語教師、第 3 団団長：金孝淑（キム・ヒョスク）新亭女子商業高校 日本語教師）。

「日本を感じる」という研修テーマの下、都内や地方でのホームステイや日本企業の訪問、学校訪問での交流活動や文化体験を通し、見聞きするだけではなく、実際に体験することを通して日本についての理解を深めました。

2. 日程

2/3(火)

到着(成田国際空港)

2/4(水)

オリエンテーション、歓迎昼食会、都内視察、外務省訪問

2/5(木)

1・2 団:文化体験(着付け、能楽体験)、施設見学、3 団:関東国際高等学校訪問

2/6(金)

1 団:鳥取県へ移動、鳥取敬愛高等学校訪問、ホームステイ対面式

2 団:明治学院 中学校／東村山高等学校訪問

3 団:愛媛県へ移動、企業訪問(井関松山製造所)、道後温泉街散策

2/7(土)

1 団:終日ホームステイ、2 団:大阪へ移動・ホームステイ対面式、3 団:松山城見学・ホームステイ対面式

2/8(日)

ホームステイ

2/9(月)

1 団:企業訪問(リコーインダストリアルソリューションズ(株)鳥取事業所)、鳥取砂丘見学、大阪へ移動

2・3 団:学校訪問(2 団:兵庫県立芦屋高等学校、3 団:愛媛大学附属高等学校)

2/10(火)

1 団:学校訪問(兵庫県立加古川南高等学校)

2 団:見学(清水寺、京都マンガミュージアム)、和食作り体験

3 団:文化体験(和太鼓、お好み焼き)、大阪企業家ミュージアム見学

2/11(水)

1 団:大阪城見学、文化体験(和太鼓、お好み焼き)、2 団:文化遺産見学(金閣寺、大阪城)、和太鼓体験

3 団:文化遺産見学(清水寺、金閣寺)、着付け体験、全団:感想報告会

2/12(木)

帰国(関西国際空港)

3. 写真

	
(日本語) 2月4日 講義「日本産マンガのグローバル・マーケティング：北米市場に注目して」(両国)	(日本語) 2月4日 講義「日本産マンガのグローバル・マーケティング：北米市場に注目して」(両国)
(母国語) 2월 4일 강의 「일본산 만화의 글로벌 마케팅: 북미 시장에 주목해서」 (료고쿠)	(母国語) 2월 4일 강의 「일본산 만화의 글로벌 마케팅: 북미 시장에 주목해서」 (료고쿠)
	
(日本語) 2月4日 外務省訪問(千代田区)	(日本語) 2月4日 外務省訪問(千代田区)
(母国語) 2월 4일 외무성 방문(지요다구)	(母国語) 2월 4일 외무성 방문(지요다구)
	
(日本語) 2月5日 1団文化体験(着付け) (台東区)	(日本語) 2月5日 2団文化体験(着付け) (台東区)

(母国語)2월 5일 1단 문화체험(키모노 입어보기) (다이토쿠)	(母国語)2월 5일 2단 문화체험(키모노 입어보기) (다이토쿠)
	
(日本語) 2月5日 1団文化体験 (能楽) (文京区)	(日本語) 2月5日 2団施設見学 (安藤百福発明記念館) (横浜市)
(母国語) 2월 5일 1단 문화체험(노가쿠) (분교구)	(母国語) 2월 5일 2단 시설견학(안도모모 후쿠발명기념관) (요코하마시)
	
(日本語) 2月5日 3団学校訪問 (関東国際高等学校) (渋谷区)	(日本語) 2月5日 3団学校訪問 (関東国際高等学校) (渋谷区)
(母国語) 2월 5일 3단 학교방문(간토국제고등학교) (시부야구)	(母国語) 2월 5일 3단 학교방문(간토국제고등학교) (시부야구)
	
(日本語) 2月6日 1団学校訪問 (鳥取敬愛高等学校) (鳥取市)	(日本語) 2月6日 1団学校訪問 (鳥取敬愛高等学校) (鳥取市)

(母国語) 2월 6일 1단 학교방문(돗토리케 이아이 고등학교) (돗토리시)	(母国語) 2월 6일 1단 학교방문(돗토리 케 이아이 고등학교) (돗토리시)
	
(日本語) 2月6日 2団学校訪問(明治学 院中学校／東村山高等学校) (東京都東村山 市)	(日本語) 2月6日 2団学校訪問(明治学 院中学校／東村山高等学校) (東京都東村山 市)
(母国語) 2월 6일 2단 학교방문(메이지학 원 중학교/히가시무라야마 고등학교) (도 쿄도 히가시무라야마시)	(母国語) 2월 6일 2단 학교방문(메이지학 원 중학교/히가시무라야마 고등학교) (도 쿄도 히가시무라야마시)
	
(日本語) 2月6日 3団企業訪問(井関松 山製造所) (松山市)	(日本語) 2月6日 3団道後温泉散策(松 山市)
(母国語) 2월 6일 3단 기업방문(이세키 마 쓰야마 제조소) (마쓰야마시)	(母国語) 2월 6일 3단 도고온천 산책(마 쓰야마시)
	
(日本語) 2月6日 1団ホームステイ対面 式(鳥取市)	(日本語) 2月7日 3団松山城見学(松山 市)

(母国語) 2 월 6 일 1 단 홈스테이 대면식 (돗토리시)	(母国語) 2 월 7 일 3 단 마쓰야마성 견학 (마쓰야마시)
	
(日本語) 2 月 7 日 3 団ホームステイ対面式 (松山市)	(日本語) 2 月 9 日 2 団ホームステイから再集合お別れ会 (芦屋市)
(母国語) 2 월 7 일 3 단 홈스테이 대면식 (마쓰야마시)	(母国語) 2 월 7 일 2 단 홈스테이에서 집합 (아시야시)
	
(日本語) 2 月 9 日 1 団企業訪問 (リコーインダストリアルソリューションズ (株) 鳥取事業所) (鳥取市)	(日本語) 2 月 9 日 1 団企業訪問 (リコーインダストリアルソリューションズ (株) 鳥取事業所) (鳥取市)
(母国語) 2 월 9 일 1 단 기업방문(RICOH Industrial Solutions (주) 돗토리 사업소) (돗토리시)	(母国語) 2 월 9 일 1 단 기업방문(RICOH Industrial Solutions (주) 돗토리 사업소) (돗토리시)
	

(日本語) 2月9日 2団学校訪問(兵庫県立芦屋高等学校)(芦屋市)	(日本語) 2月9日 2団学校訪問(兵庫県立芦屋高等学校)(芦屋市)
(母国語) 2월 9일 2단 학교방문(효고현립 아시아 고등학교)(아시야시)	(母国語) 2월 9일 2단 학교방문(효고현립 아시아 고등학교)(아시야시)
	
(日本語) 2月9日 3団学校訪問(愛媛大学附属高等学校)(松山市)	(日本語) 2月9日 3団学校訪問(愛媛大学附属高等学校)(松山市)
(母国語) 2월 9일 3단 학교방문(에히메 대학부속 고등학교)(마쓰야마시)	(母国語) 2월 9일 3단 학교방문(에히메 대학부속 고등학교)(마쓰야마시)
	
(日本語) 2月10日 1団学校訪問(兵庫県立加古川南高等学校)(加古川市)	(日本語) 2月10日 1団学校訪問(兵庫県立加古川南高等学校)(加古川市)
(母国語) 2월 10일 1단 학교방문(효고현립 가코가와 미나미고등학교)(가코가와시)	(母国語) 2월 10일 1단 학교방문(효고현립 가코가와 미나미고등학교)(가코가와시)

	
(日本語) 2月10日 2団清水寺見学(京都市)	(日本語) 2月10日 3団文化体験(和太鼓)(大阪市)
(母国語) 2월 10일 2단 기요미즈데라 견학(교토시)	(母国語) 2월 10일 3단 문화체험(와다이코)(오사카시)
	
(日本語) 2月10日 2団和食作り体験(京都市)	(日本語) 2月10日 2団和食作り体験(京都市)
(母国語) 2월 10일 2단 와쇼쿠 만들기 체험(교토시)	(母国語) 2월 10일 2단 와쇼쿠 만들기 체험(교토시)
	
(日本語) 2月10日 3団お好み焼き作り体験(大阪市)	(日本語) 2月11日 1団大阪城見学(大阪市)
(母国語) 2월 10일 3단 오코노미야키 만들기 체험(오사카시)	(母国語) 2월 11일 1단 오사카성 견학(오사카시)

	
(日本語) 2月11日 1団文化体験(和太鼓) (大阪市)	(日本語) 2月11日 2団文化体験(和太鼓) (大阪市)
(母国語) 2월 11일 1단 문화체험(와다이코) (오사카시)	(母国語) 2월 11일 2단 문화체험(와다이코) (오사카시)
	
(日本語) 2月11日 2団金閣寺見学(京都市)	(日本語) 2月11日 3団金閣寺見学(京都市)
(母国語) 2월 11일 2단 금각사 견학(교토시)	(母国語) 2월 11일 2단 금각사 견학(교토시)
	
(日本語) 2月11日 3団清水寺見学(京都市)	(日本語) 2月11日 3団文化体験(着付け) (京都市)
(母国語) 2월 11일 3단 기요미즈데라 견	(母国語) 2월 11일 3단 기요미즈데라 견

학(교토시)	학(교토시)
--------	--------

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○ホームステイに関して

(1 団感想：以下のとおり)

- ・ 私達が疲れないように配慮してくれ、言葉が通じなくても理解しようと努力してくれた。そのような姿から愛情深さと愛を感じた。
- ・ 一つでもより多くのものを見せて、教えてくれようとするホストに感動した。
- ・ 近くで日本の日常生活を見て聞く経験が一番深く脳裏に刻まれた。つたない日本語のため会話をすることに難しさもあったが、ホストの配慮でちょっとずつ理解し、交流できた。

(2 団感想：以下のとおり)

- ・ 日本語がうまくないので心配だったが、日本語が上手な団員と一緒にホームステイに行き、ホストの方もゆっくりと話をしてくださったので本当に楽しいホームステイだった。
- ・ 西宮市のホスト宅から有馬温泉に連れて行ってもらい露天風呂を体験したほかにも、ホームステイ中にたくさんの日本文化を学ぶことでできて本当に有意義で楽しい思い出になりました。
- ・ 日本では、すき焼きや焼き肉など料理がとても美味しかったが、なんといってもホームステイでお母さんが作ってくれた料理が一番美味しく、忘れられない味だ。
- ・ ホストと一緒に過ごした時間は日本の生活習慣等を一番近くで感じるができるプログラムではないかと思う。特に食事や一日の疲れを癒すために夜入るお風呂等を日本の家庭で体験できたことは、韓国に帰ってもいつまでも思い出されると思う。
- ・ 家で湯船に入ることや家族全員が同じお風呂のお湯を使うことに驚いた。
- ・ 韓国より情が薄いと思っていたが、色々な訪問先での日本人はいつも笑顔を絶やさないのが印象的だった。なかでも、ホームステイホストが自分を家族のようにむかえてくれ、別れの時は涙が流れるほど感動し、この体験を通して日本人に対する自身の考えが180度変わった。
- ・ 日本は静かで冷たいと思っていたが、それは冷たいのではなく、礼儀正しく、相手との距離を保つことを家庭の中で学んでいながらも思いやりがあり、温かさがあるのだと感じました。
- ・ ホスト家族との2泊3日は、普通の生活を通して、お互いに似ている部分や違うところなどを発見し教え合いながら理解していくのはとても良いことだと感じた。
- ・ ホストが地域の文化と日本人の国民性、生活、文化、教育などについて細かく教えてくれ、韓国では日本についてどのようにいわれているか質問された。韓国と日本の文化を比べてみる良い機会になった。

(3 団感想：以下のとおり)

- ・ 初めて会ったにもかかわらず、温かく迎え入れてくれた家族に感銘を受けた。
- ・ ホストと政治、経済、入試制度、歴史についてたくさん話をした。私たちはとても似ているけれど、考え方や歴史の見方、行動方式に違いがある。互いがその違いを理解すればよい関係を築けるのではないかと感じた。
- ・ ホストが自分と仲良くなるために色々と頑張ってくれる姿を見て感動した。

- ・ 本当の家族のように良くしてくれたので、自分が大学生になったら必ずホストファミリーに会いに来るつもりだ。

○学校訪問に関して

(1 団感想：以下のとおり)

- ・ 日本人は消極的だろうという以前の考えとは違い、日本の学生や和太鼓体験の講師を見、日本人も積極的で元気があふれているという考えが変わった。
- ・ 私達が疲れないうにとの気配りと温かさを感じた。日本人は冷たいという考えが変わった。特に、日本人が恥ずかしいと思う行動と言葉が私の考えとは違い不思議だった。
- ・ 考えていたよりも日本人の学生、日本人は慎重であるほどに感情にも正直で、学生はむしろ韓国人学生よりも規則や礼儀作法に真面目で身だしなみよく制服を着ていた。その姿は見ていて気持ちよかった。
- ・ 学生が喜んで迎えてくれる愛情深さとお互いに話をしながら感じた文化の違い。そして学生ということでお互いに通じる瞬間瞬間が楽しかった。

(2 団感想：以下のとおり)

- ・ 個人的な旅行では体験できない学校訪問を通して新しい日本の友達がたくさんできたことは貴重な思い出になると思います。
- ・ 日本のクラブ部活動や教育課程を体験して両国の長所、短所を発見することができた。新しい友達もできて忘れられない思い出となった。
- ・ 学業に関しては韓国のほうが進んでいるが、クラブ活動がとても活発に行われていて「学生が楽しめる学校」という印象を受けた。また、生徒会の役割・活動がとても大きいと感じ、韓国でもこのような活動があることを広めて作ることができると良いと思った。
- ・ 体育の時間に一生懸命運動する日本の生徒の姿がとても印象的で、ドッジボールの最中に相手への謝罪と称賛の言葉を惜しげなくかけている姿は見習うべきだと思った。
- ・ 日本の教育は韓国と同様に詰め込み型教育だと思っていたが、実際には人格と才能を発揮できるような教育をしていたことに驚いた。
- ・ 体育館で団員を迎えてくれた時、全校生徒が静かに待っていた姿がとても印象的でした。また授業でも集中して熱心に取り組んでいた様子や教師との壁を感じることなく親しげに話しているようでもとても礼儀正しい態度が強く印象に残っています。自分の生徒にも日本人の親切心、配慮、礼儀正しさなどを伝えたいと思います。

(3 団感想：以下のとおり)

- ・ 日本の学園ドラマをみて、日本の学生は不良が多いと思っていたが、実際は礼儀正しく言葉づかいも丁寧なことに驚いた。
- ・ 愛媛付属高校の学生達が、自分たちのためにスピーチをしてくれたことが印象的だった。準備も大変だったと思うと、本当に歓迎されているのを実感した。
- ・ 授業に参加し、学生と一緒に食事を取りいろいろな話をできたことが印象に残った。

○伝統、文化に関して

(1 団感想：以下のとおり)

- ・ 日本の食事は和食（ちゃんこ、寿司など）だけでなく、洋食や韓国食まで美味しかった。

- ・ 昔から伝えられてきた自国だけの伝統を現代にまで伝え、またその文化を後世に伝えるために多くの努力を傾ける、几帳面できめ細かい人々の国だと思った。韓国とは違い日本の相撲は今でも国民の楽しみであり、テレビには力士が芸能番組に出る程に認知度が高いことに驚いた。ちゃんこ鍋が今でも一般的に食されていることも魅力的だ。
- ・ 学校で茶道体験をしたが、昔から伝えられている文化を同年代の子達が授業や部活動で学ぶということが特異でもあり、羨ましくもあった。
- ・ 着物は派手で綺麗な伝統服だとばかり思っていたが、柄には季節を表し、ぎゅっぎゅっと着付ける方法は日本の包む文化が理由にあると知った。
- ・ 日本人の文化財管理能力が印象深い。日本の文化財は古くなっているが保存が立派になされていた。日本人の文化財に対する認識も実に驚くべきもので、神社、大阪城でも自分が落としたゴミは拾ってゴミ箱に捨てる姿が印象深い。

(2 団感想：以下のとおり)

- ・ 和太鼓体験は単純だが弦楽器などと一緒にアレンジした演奏はとても楽しく、韓国の太鼓でもいいので家に帰って買ってみようかと思った。
- ・ 日本でしか見られない金閣寺や清水寺などの建築物やその周辺の町の雰囲気良かった。
- ・ 訪日前はただの隣国だと思っていたが、日本を訪問したらよく似ている文化、家族、考え方を共有している一つの友達国家であることに気付いた。
- ・ 訪問前の日本の印象は「清潔」だった。東京は予想通り道も建物も全てが綺麗で清潔だったが、大阪は東京より少し寛大な印象を受け、韓国に似ている感じがして親近感を感じた。
- ・ 近代的なマンションの中に畳の部屋があり、伝統建築と融合しているのが不思議だった。韓国もマンションの中に韓屋の要素を取り入れてみたらよいと思った。
- ・ 特に清潔なトイレで感じた感動は今でも忘れられない。「他人に迷惑を掛けない」という日本の精神を強く感じた。

(3 団感想：以下のとおり)

- ・ 和太鼓体験はあまり期待していなかったが、行ってみたら見るのも叩くのも全部面白かった。日本にまた来るときはもう一度見に行きたい。
- ・ トイレと浴室が別なこと、お風呂の文化が発展している所が良かった。
- ・ 食事の際、韓国ではスプーンを主に使うが、日本は箸を使っているのが印象的だった。
- ・ 和食がしょっぱくて口に合わなかった。
- ・ 松山城や大阪城がとてもきれいだった。
- ・ 寺や神社が多いのが印象的だった。
- ・ 料理ごとに器が違うことが不思議だった。

○人間性について

(1 団感想：以下のとおり)

- ・ 日本に関心を持ったきっかけは日本のドラマだった。愉快で楽しいドラマと、実際の日本はドラマのようにいつも愉快的様子ではなかったが、とても親切で優しかった。日本の文化産業が成功したのは日本人の受容的で包容的な意識があったからだと思う。
- ・ 日本人は韓国人を嫌いだと聞き心配していたが、日本人は親切で自分の考えが間違っていたことを知った。日本人は全員親切で、有り余るほどに配慮してくれた。

- ・ 日本人の用意周到さが印象深い。各訪問機関、企業、学校などどこを訪ねても関係者の方からは韓国の学生たちがより楽に過ごして帰れるよう、事前に準備し待っていてくれた。
- ・ 日本人はいつも笑っているだけではなく、体には落ち着きと「ありがとう」「すみません」という言葉が染みついているようだった。道ですれ違う人からホテルの職員まで全員が親切だった。これだけ優しく接してくれる国が他にあるのかと思うほどだった。

(2 団感想：以下のとおり)

- ・ 日本の方はどこにいても親切で優しく、全てにおいて良い印象を与えてくれました。(温かい気持ちになった。)
- ・ 話す言葉は違いますがホストの皆さんや日本で知り合った多くの方と友達になることができ、この方たちを通して日本という国を感じることができた良い時間でした。親切で整理整頓がうまい日本人に対する認識がより深まった。
- ・ 日本人は静かな人ばかりだと思っていたが、多くの日本人と交流する中でそうではないのだと感じた。みんな気を遣ってくれて優しいのは共通だが、活発な人や積極的な人、物静かな人など色々なタイプの人がいた。
- ・ 日本は本当に行ってみたい国だったので以前から好意的に見ていたが、訪日してみると公共の場などでの他人に配慮する姿を見て、ある意味怖いという考えさえよぎった。
- ・ 訪日前から日本人は「時間厳守」だと思っていたが、ほかの人に迷惑を掛けたくないという他人への配慮からきているのか、本当に時間を守ることを重んじているのだと感じた。
- ・ エレベーターで乗り降りする人のために場所を譲る姿を見て本当に驚いた。
- ・ 思っていたよりも静かで整然としているわけではなかった。言葉が違うだけで別段、韓国との違いを感じることはなかった。

(3 団感想：以下のとおり)

- ・ 敵対的でもなく友好的でもなかった。来る前と来た後の印象はさほど変わらなかった。
- ・ 高い国民意識と規則を守る態度など学ぶ点が本当に多い国だと思った。
- ・ 個人主義で冷たいイメージがあったが、それは他人に迷惑を掛けないようにするためだと気付いた。
- ・ よその人にも丁寧に挨拶をし、礼儀を重んじる姿が印象的だった。

○その他

(1 団感想：以下のとおり)

- ・ これまで行くことがなかった鳥取県という小都市に行けたのが嬉しかった。日本人の情と実際の生活を感じたければ地方の小都市が一番良く、日本の健全な魅力はやはり地方ごとの特性にあるのではないかと思う。

(2 団感想：以下のとおり)

- ・ 一橋大学松井教授の講義は自分が日本に来た目的が何なのか、日韓交流のために何をするべきなのか考えさせてくれるものだった。
- ・ 訪日前、日本は韓国の隣国であるが好意はもっていなかった。しかし、訪日研修を終え、未だに両国間の歴史問題など複雑なことはあるが、両国が友好的な関係に発展できる可能性は十分にあると感じた。
- ・ 訪日前はテレビやニュースなどの政治的・歴史的問題のせいで日本への拒否感や日本のイメー

ジがとても良くなかった。しかし、今回の研修で日本人の人間性や文化、人々との交流を通して日本という国に魅力を感じた。

- ・ 安全面で研修中に何度も注意事項を伝えてくれたり、移動時にも人数確認を必ずしたり、少し体調が悪い団員にすぐに対応しているのを見て、そこまでは必要があるのかと思っていたが、全員無事に研修を終えることができ、安全面への配慮は大変だったろうと感動した。
- ・ 日本と韓国は歴史・政治手的な問題で仲が良くないので韓国人は日本、日本人といえば日本文化を楽しみながらも日本に対する反感や偏見が先に立ちます。しかし、ホームステイや学校訪問で会った日本の方々は、みんな韓国や韓国人ことを少しでも分かろう、良い関係を築こうと努力していました。今後、韓国が日本に対する外交において良い結果をだすには政治的な外交問題だけでなく、韓国国民が日本や日本人に対して理解をしようとする姿勢が必要ではないかと感じた。

(3 団感想：以下のとおり)

- ・ 済州では日本語を専攻する学生が急激に減っているため、この研修が日本語に興味を持つきっかけになればと思った。
- ・ 外国人と言えは、言葉も通じず漠然と自分とは違う世界の人だと思っていたが、ホストファミリーや学生との交流を通して心を開いたことで、彼らも同じ人間なのだということを改めて感じた。
- ・ 日本語能力が足りず深い対話ができなかったのが残念だったので、日本語をもっとしっかり勉強しようと思った。
- ・ 日本人は反韓感情を持っていると思っていたが、実際は好意的で秩序を守り、正直できれい好き等、韓国人が見習うべきところが多かった。
- ・ 日本では大人もアニメを楽しんでいることに驚いた。
- ・ 研修を通して、日本人の思考や韓国に対する態度、日韓交流の重要性を再認識した。
- ・ 以前、日本は韓国の 20 年先を言っているという話を聞いて理解できなかったが、考え方や国民意識の高さを見ると韓国に比べとても高いと感じた。
- ・ フェイスブックや SNS で放射能や自然災害について恐怖をあおる内容が多く不安だったが、来てみてそういった固定観念を捨てることができた。
- ・ この研修のおかげで世界を見る視野を広げることができた。
- ・ 旅行で来たことがあるのであまり期待していなかったが、様々な経験をすることで本当の日本を感じることもできた。
- ・ 冷静沈着で迅速な対応をする店員をみて、韓国はまだまだ日本から学ばなければならないことが多いと感じた。
- ・ 来る前は敵対心を持っていたが、人間性や礼儀、思いやりの心など見習うべきところが多く、韓国も日本のようになれば大きな成長をとげられるのではないかと感じた。

◆自国の人に伝えたいこと

(1 団感想：以下のとおり)

- ・ 今回初めて日本の学校を訪問したが、授業体験や学生との交流を通して多くのことを学べて良かった。帰国後は日本の学校の様子について広めたい。
- ・ 日本で感じた様々な魅力を伝えたい。今回の研修を通じて日本に対する関心がより深まり、こ

れからも継続的に関心をもち両国の文化交流に尽力したい。

- ・ 日本への訪問を勧めたい。
- ・ 日本人のサービス精神と文化意識、配慮…個人以外にも韓国だったら有料のものが公共の利益のために無料で提供されているということが不思議で驚いた。自国を愛する心、犠牲の心、配慮する心などで、韓国の水準とほんの少し違うだけで韓国との違いが出ているのではと思った。韓国も今よりもほんの少しだけ自国を愛し、お互いに配慮し合えば今よりも成長できるのではないか。
- ・ インターネットを見ると両国民はお互いをあまり好きではないように見えるが、事実ではなかった。日本に来て日本人の助け、温かい微笑みをたくさん受け、心が痛む別れも多かった。国、文化が違ってもお互いに大切に思い合いながら未来に向かって行かなければならない。
- ・ 多くの人が日本について良くない先入観や誤解をしていることが悔しい。日本人は道にゴミを捨てず、車のクラクションも鳴らさない。これは韓国も見習うべきだと思う。
- ・ 日本は私達が考えている以上にもっと美しく、情が厚い国で親切だということ。

(2 団感想：以下のとおり)

- ・ 友達が日本に対して間違った認識を持っていたら、違っていると教えてあげたいし、日本の良い面も伝え、一度は日本に行くことを勧めたい。
- ・ 日本のサービス業に従事する人たちは、ホテル、飲食店、どこの店でも本当に最善を尽くして業務にあたっているのだと気付かされた。この点は韓国も見習うべきだと感じた。
- ・ 公共マナーが良いところは、やはり一つの先進国であると感じ、そこは韓国も学ぶべきであると思います。
- ・ 日本人の「時間厳守」や「人に優しく自分に厳しく」という考え方は他人に迷惑を掛けないという「配慮」からきているように思う。このような考え方を友達や先生に教えたい。
- ・ 相手に配慮するのはもちろんのこと、スマートで秩序をよく守り、さりげない気配りと自分より相手のことを先に考えるところがとても印象深かった。また、道ではゴミを見かけないし、車のクラクションも聞こえず「すみません」「ありがとうございます」とう言葉が習慣になっている生活習慣と意識は韓国人が一番必要とするもので、学ばなければいけないことではないかと思う。
- ・ 日本と韓国、両国の交流と理解を通してお互い発展的な Win-Win の関係を続けていけるよう自分も努力したい。

(3 団感想：以下のとおり)

- ・ 研修を通じて日本と日本人を見る目が好意的に変わったので、他の人達にもこの研修を勧めたいと思う。
- ・ 自分もそうだったが、日本に対し先入観を持っている人は多い。その人たちに日本は知れば知るほど良い点が沢山あるということを伝えたい。
- ・ 日本の魅力と日本人の本当の姿を伝え、韓国人が日本人に対して持っている固定観念を壊したい。